

地域みんなでまちづくり会議活動報告書

地区名	第十小学校通学区域
開催日時	平成29年4月18日(火) 19時から20時30分まで
会場	第十小学校会議棟
参加者	市民11名、地域担当職員3名、合計14名(うち男性10名・女性4名)
(議題等)	
1	コミュニティ作りについて
2	その他
①	次回検討事項について
②	次の開催日について
(結論(決定した方針、解決すべき課題、保留事項等))	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 十小校区におけるコミュニティを作るためには、地域で活動する団体との連携を図ることが必要であり、当面、連携を図る手段としては、防災を観点にした取り組みについて、各団体を交えて議論することで相互の連携を深めていくことに決した。 ・ 連携を深めるため、本会議に各団体からから2人の参加を打診することとした。 ・ 会議開催の頻度については毎月開催することとし、開催日は第三火曜日にすることに決した。 	
(会議の内容)	
1	コミュニティ作りについて
<p>会員から出された主な意見は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本会議は自主的に活動できる体制が必要である。現在は協働推進課で事務局的に動いているが、いずれは事務的なことについても我々が自主的に活動していく必要がある。 ・ 小学校区にはいろいろな団体が活動しているが、連携を図れる場はこの会議である。 ・ 中原自治会では他の団体とのつながりが無い。この会議を通じて連携ができればと思う。 ・ 地域の高齢者や児童が安全・安心に暮らせるようにすることが大切である。 ・ コミュニティ作りは、取り組みの結果であって、手段ではない。 ・ 小学校区より小さい区域で防災について取り組み、これを積み上げていく連携が必要である。 ・ 地域で活動する団体同士の連携を深めるには、まず、防災の観点がとっつきやすい。 ・ これまでのように三か月ごとの開催では話が進まない。毎月開催するほうがよい。 	

<ul style="list-style-type: none"> このメンバーで議論しても仕方がない。地域で活動する団体に参加してもらい、会員を増やし、団体が考える地域の課題や、防災の取り組みを行う上での課題等を解決していく中で連携が生まれてくると思う。 方向性が定まらない中で、メンバーを集めることに対しては疑問がある。 第一小学校では防災キャンプを行った。子どもは地域の人がわからない。また、地域の方は学校がわからなかった。防災キャンプはよいとっかかりになった。 前々回参加いただいた団体のメンバーを集めて、月1回の会議を開くことを前提に活動を進めたい。その中で防災についての企画を考え、課題を解決していきながら連携を深めたい。
2 その他
① 次回検討事項について
十小校区におけるコミュニティ作りについて、地域で活動する団体との認識の共有を図る。
② 次回の開催日について
次回予定欄のとおり。
(次回予定)
日 時 平成29年5月16日(火)及び同年7月18日(火)
会 場 第十小学校会議棟
議 題 等 コミュニティ作りについて